# 特別会計

# ◇◇◇ 国民健康保険事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額 33,553,259 千円

歳出決算額 33,158,478 千円

差引残額 394,781 千円

国民健康保険は、被用者保険等の他の医療保険制度に比べ低所得者や高齢者の加入割合が高いという構造的問題を抱え、医療費は被保険者の高齢化や近年の医療技術の高度化に伴い増加傾向にある。

現在、国民健康保険の財政運営は都道府県単位化され、市町村は「国民健康保険事業 費納付金」を都道府県へ納める仕組みとなっている。

令和6年度は、収納率向上や医療費適正化に向けた対策を引き続き進めることで、財政の健全化に努めた。また、令和6年12月2日以降、従来の保険証の発行を終了し、マイナンバーカードを保険証として利用する「マイナ保険証」の仕組みに移行した。

# 歳 入

# (1款)保険料 (1項)保険料

国民健康保険料の収入状況は、次のとおりである。

(単位:千円、%)

							/ /-	I. —
	区分	予算現額	調定額	収入済額	還付	収 入	収 6年度	为 率 5年度
	7,	7 97 20 10	H/4 /C H/	100 7 C D T BX	未済額	未済額	対調定	対調定
	医療給付費現年賦課分	4,026,217	4,166,023	4,003,802	6,568	161,066	96.1	96.0
	後期高齢者支援金現年賦課分	1,144,869	1,213,909	1,167,822	1,891	45,762	96.2	96.0
_	介護納付金現年賦課分	410,719	436,054	416,334	679	19,661	95.5	95.5
般	医療給付費滞納繰越分	122,046	577,917	128,395	36	407,084	22.2	21.3
分	後期高齢者支援金滞納繰越分	34,629	162,847	36,338	8	114,545	22.3	21.5
	介護納付金滞納繰越分	14,957	76,226	14,425	4	55,912	18.9	19.1
	計	5,753,437	6,632,976	5,767,116	9,186	804,030	86.9	86.7
	医療給付費現年賦課分	0	0	0	0	0		
	後期高齢者支援金現年賦課分	0	0	0	0	0		
退	介護納付金現年賦課分	0	0	0	0	0		
職	医療給付費滞納繰越分	107	253	113	0	120	44.7	42.3
分	後期高齢者支援金滞納繰越分	29	66	32	0	34	48.5	43.5
	介護納付金滞納繰越分	24	65	26	0	39	40.0	44.4
	計	160	384	171	0	193	44.5	42.9
	医療給付費現年賦課分	4,026,217	4,166,023	4,003,802	6,568	161,066	96.1	96.0
	後期高齢者支援金現年賦課分	1,144,869	1,213,909	1,167,822	1,891	45,762	96.2	96.0
	介護納付金現年賦課分	410,719	436,054	416,334	679	19,661	95.5	95.5
合計	医療給付費滞納繰越分	122,153	578,170	128,508	36	407,204	22.2	21.3
μι	後期高齢者支援金滞納繰越分	34,658	162,913	36,370	8	114,579	22.3	21.5
	介護納付金滞納繰越分	14,981	76,291	14,451	4	55,951	18.9	19.2
	合 計	5,753,597	6,633,360	5,767,287	9,186	804,223	86.9	86.7

#### (3款)国庫支出金 (1項)国庫補助金

国庫補助金の収入状況は、次のとおりである。

区 分	補助率	補助金受入額		
総務費国庫補助金	_	19,889 千円		
保健事業費国庫補助金	1/2	1,894 千円		
合 計		21,783 千円		

# (4款)県支出金 (1項)県補助金

県補助金の収入状況は、次のとおりである。

区 分					補助金受入額	
保険給付費	普	通	交	付	金	22, 386, 739 千円
等交付金	特	別	交	付	金	911, 513 千円
合		計			23, 298, 252 千円	

## (5款)財産収入 (1項)財産運用収入

国民健康保険財政調整積立基金の預金利息として123千円の収入があった。

#### (6款)繰入金 (1項)一般会計繰入金

財政安定化支援事業として 470,958 千円、保険基盤安定負担金として 1,824,994 千円、事務費等として 726,719 千円、福祉医療波及分として 90,153 千円、合計 3,112,824 千円を一般会計より繰り入れた。

保険基盤安定負担金に	玉	県	市	計
係る繰入金財源内訳	329, 122 千円	1,039,623 千円	456, 249 千円	1,824,994 千円

#### (6款)繰入金 (2項)基金繰入金

国民健康保険財政調整積立基金から213,900千円を繰り入れた。

#### (7款)繰越金 (1項)繰越金

前年度からの繰越金は、1,045,045千円であった。

#### (8款)諸収入 (3項)雑入

雑入 73, 181 千円は、第三者納付金 58, 608 千円や返納金 10, 736 千円がその主なものであった。

## 歳 出

#### (1款)総務費 (1項)総務管理費

ウォーキングや各種健診等の受診、健康イベント参加などにインセンティブを付与することで、市民が健康づくりに主体的に取り組むきっかけをつくり、その取組が継続されるよう支援するため、医療費適正化特別対策費のうち、くるめ健康のびのびポイント事業として8,115千円を支出した。

標準仕様準拠システムへの移行準備や、令和6年12月に実施された被保険者証廃止等へ対応するためのシステム改修費用として138,326千円、国民健康保険財政調整積立基金への積立金(利子分含む)として947,950千円を支出した。

# (2款)保険給付費 (1項)療養諸費

療養諸費の主な支出状況は、次のとおりである。

区分		分	診療件数	費用額	保険者 負担額	被保険者 1 費用額	. 人当たり (円)	被保険者 1 診療件数	L 人当たり (件)
			(件)	(千円)	(千円)	6年度	5年度	6年度	5年度
療養	給付	寸費	1,077,059	25,757,561	18,874,044	458,271	453,581	19.16	19.22
療	養	費	27,283	242,546	182,025	4,315	4,214	0.49	0.47
	計		1,104,342	26,000,107	19,056,069	462,586	457,795	19.65	19.69

#### (2款)保険給付費 (2項)高額療養費

高額療養費の支出状況は、次のとおりである。

				, ,	当たり
区 分	   件数	高額療養費支給額※	支給決定額	高額療養費支給額	
	1	问帜尽食其义和帜入	<b>人</b> 相认足银	6年度	5年度
一般被保険者分	47, 491 件	3,044,629 千円	3,049,595 千円	64,110円	63,022 円

<sup>※</sup>高額療養費支給額は返還金等を除いた金額

## (2款)保険給付費 (4項)出産育児諸費

出産育児一時金等の支出状況は、次のとおりである。

区 分	金額	出生1人当たり支給額
出産育児一時金等	82,383 千円	500 千円※

<sup>※</sup>産科医療補償制度未加入の医療機関で出産した場合は、488 千円

#### (2款)保険給付費 (5項)葬祭諸費

葬祭費の支出状況は、次のとおりである。

区	分	金額	1 件 当 た り 支 給 額
葬	祭費	10,920 千円	30 千円

#### (3款)国民健康保険事業費納付金 (1項)医療給付費分

国民健康保険事業費納付金のうち医療給付費分として、一般被保険者分 6,140,048 千円を 支出した。

#### (3款)国民健康保険事業費納付金 (2項)後期高齢者支援金等分

国民健康保険事業費納付金のうち後期高齢者支援金等分として、一般被保険者分 2,051,359 千円を支出した。

#### (3款)国民健康保険事業費納付金 (3項)介護納付金分

国民健康保険事業費納付金のうち介護納付金として、702,926千円を支出した。

<sup>※</sup>退職被保険者等分は一般被保険者分に含む

# (5款)保健事業費 (1項)特定健康診査等事業費

特定健康診査等事業費として、179,373千円を支出した。

区分	受診者・終了者数	受診率・実施率
特定健康診査	14, 489 人	38.6%
特定保健指導	475 人	29.4%

※速報値

# (5款)保健事業費 (2項)保健事業費

はり、灸及びあん摩マッサージ施術事業費として7,746千円を支出した。

また、CKD (慢性腎臓病) 対策事業費として 5,888 千円、CKD啓発事業として 907 千円を支出した。

# ◇◇◇ 競輪事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額 36,103,535 千円

歳出決算額 35,479,160 千円

差引残額 624,375 千円

本年度は、GI(オールガールズクラシック)を開催できたことに加え、競輪業界全体としてインターネット投票が好調だったことから、前年度と比較し売上が約23億円増となった。

## 歳入

#### (1款)競輪事業収入 (1項)競輪事業収入

車券発売 34,767,009 千円、入場料等 6,013 千円、合計 34,773,022 千円を収入した。

#### (2款)財産収入 (1項)財産運用収入

売店使用料等 2,727 千円、利子及び配当金 1,797 千円、合計 4,524 千円を収入した。

#### (3款)繰入金 (1項)基金繰入金

競輪場施設等改善基金から41,371千円を繰り入れた。

#### (4款)繰越金 (1項)繰越金

前年度からの繰越金は538,985千円であった。

#### (5款)諸収入 (2項)受託事業収入

受託場外委託料等 498,017 千円を収入した。

#### (5款)諸収入 (3項)雑入

サテライト北九州・サテライト中洲場外発売業務委託料預り金等 247,616 千円を収入した。

#### 歳 出

#### (1款)総務費 (1項)総務管理費

久留米市営競輪の開催や車券発売に必要な施設管理のほか、サイクルファミリーパークの 運営を助成するとともに、競輪場再整備に向けた基金積立を行った。

○負担金・補助及び交付金

912,871 千円

・全国競輪施行者協議会負担金162,203 千円・(公財) JKA交付金728,030 千円・久留米地区選手の育成・強化支援1,450 千円・サイクルファミリーパーク運営補助金17,940 千円

○公課費(消費税) 20,968 千円

○修繕料 13,146 千円

○委託料 57,997 千円

・久留米競輪場再整備設計業務委託料等 41.371 千円

〇積立金 1,313,335 千円

## (2款)事業費 (1項)事業費

車券売上の向上のために新聞やSNSを活用した広告等を実施し、全国の競輪場・専用場外発売所での臨時場外発売の展開や、ポータルサイト等と連携して協賛開催を行うなどインターネット投票拡大に取り組んだ。

〇報償費 839,839 千円

・選手賞金 837,605 千円

○広告料 85,312 千円

・中野カップGⅢ
・オールガールズクラシックGI
24,920 千円
25,235 千円

○委託料 5,236,812 千円

・投票業務機器保守等総合運用委託料 344,433 千円
・競輪競技実施委託料 369,050 千円
・受託場外委託料(サテライト北九州・中洲) 221,916 千円
・受託場外委託料(臨時場外経費) 3,805,453 千円

○使用料及び賃借料 148,852 千円

・ファンバス借上料 37,515 千円・投票業務発売集計装置機器等借上料 53,424 千円

25,986,648 千円

・的中車券の払戻金

25,986,648 千円

# (3款)諸支出金 (1項)一般会計繰出金

本年度開催による収益金のうち500,000千円を一般会計に繰り出した。

○一般会計繰出金

500,000 千円



# ◇◇◇ 卸売市場事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額 360,575 千円

歳出決算額 345,669 千円

差引残額 14,906 千円

本事業は、生鮮食料品・花木等の流通の円滑化及び食生活の安定に資するとともに、集分 荷機能の充実、取引の適正化を推進するため、中央卸売市場、地方卸売市場水産物部及び地 方卸売市場田主丸流通センターの管理運営の健全化、施設の維持管理に努めた。

また、第11次久留米市卸売市場整備計画に基づき、冷蔵庫棟改修工事(外壁・屋根笠木防水)、水産事務所棟改修工事(庇屋根板金・塗装)等を行った。

#### 歳 入

歳入は、売上高使用料 34, 298 千円、施設使用料 106, 108 千円、一般会計繰入金 95, 000 千円、繰越金 14, 440 千円、諸収入 55, 829 千円及び市債 54, 900 千円である。

#### 歳 出

歳出は、施設管理費等 177,948 千円、施設整備費 69,413 千円及び公債費 98,308 千円である。

(1) 本年度における市場施設整備事業債の償還状況は、次のとおりである。(単位:千円)

E //	公公	責 償	還 額	令和6年度末
分	元 金	利 子	計	未償還額
市場施設整備事業債	92, 884	5, 424	98, 308	617, 269

(2) 前年度との取扱高比較は次のとおりである。

(単位:トン、千円、%)

区分		中央卸売	市場(青果部)	地方卸売	市場水産物部	地方卸売市場 田主丸流通センター (花き部)		
			取扱量	取扱金額	取扱量	取扱金額	取扱量	取扱金額
令和	154	年度	24, 929	6, 649, 388	2, 299	3, 646, 498	11, 306	274, 799
令和	164	年度	24, 694	7, 752, 381	2, 270	3, 707, 166	10, 228	244, 005
増		減	<b>▲</b> 235	1, 102, 993	<b>▲</b> 29	60, 668	<b>▲</b> 1,078	<b>▲</b> 30, 794
増	減	率	▲0.9	16.6	<b>▲</b> 1.3	1.7	<b>▲</b> 9. 5	<b>▲</b> 11. 2

# ◇◇◇ 市営駐車場事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額 104,866 千円 歳出決算額 99,671 千円 差引残額 5,195 千円

久留米市営駐車場である広又駐車場、小頭町公園駐車場及び東町公園駐車場については、 指定管理者制度による管理運営を行うとともに、JR久留米駅西口駐車場については、施設 管理委託を行うなど、市民サービスの向上、管理運営コストの縮減及び経営の健全化に努め た。

# 歳 入

歳入の主なものは、JR久留米駅西口駐車場の施設使用料 53,526 千円、駐車場の修繕に伴う基金繰入金 39,678 千円、繰越金 9,206 千円、指定管理者からの納付金 2,378 千円である。

# 歳出

歳出の主なものは、駐車場精算機新札対応改修 12,826 千円、東町公園駐車場外壁改修工事 10,038 千円、JR久留米駅西口駐車場管理業務委託料 5,632 千円、市営駐車場整備基金への 積立金 47,349 千円、JR久留米駅西口駐車場整備にかかる公営企業債元利償還金 14,079 千円である。

なお、本年度における駐車場の利用状況は、次のとおりである。

	区	分	広 又 駐 車 場	小頭町公園駐車場	東町公園駐車場
収	容	台 数	15 台	100 台	92 台
			60 分ごとに 100 円	50 分ごとに 100 円	40 分ごとに 100 円
<b>→</b> →	料金	一般駐車	入庫から 12 時間	入庫から 10 時間	入庫から6時間
土は	件 並		までは 500 円	までは 500 円	までは 500 円
		月極駐車	_	1月9,420円	1月15,700円
40 田	中海	台 数	延 13,766 台	延 50,773 台	延 61, 287 台
利用実績		1 日平均	38 台	139 台	168 台

区		分		JR久留米駅西口駐車場		
収	容	台 数		台 数		254 台
主な料金				60 分ごとに 100 円		
		一般	駐車	入庫から 24 時間		
				までは 500 円		
		月極駐車		1月10,180円		
利用実績		台	数	延 83,312 台		
利用美	限	1 日	平均	228 台		

# ◇◇◇ 介護保険事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額 29,519,422 千円

歳出決算額 29,375,891 千円

差引残額 143,531 千円

団塊の世代が75歳以上となり、今後益々の高齢社会の進展が見込まれる中、「高齢者が住み慣れた地域で支え合い、自分らしく安心していきいきと暮らし続けられるまち」の実現を目指して、医療・介護、介護予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進を図るため、第9期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、介護保険事業の円滑な実施と安定的な運営に努めた。

具体的には、保険給付の適正な実施に努めるとともに、在宅医療・介護の連携推進や 介護サービス事業者への支援などに取り組んだ。

また、認知症対策として、認知症予防教室の開催や認知症初期集中支援チームの運営、オレンジ協力隊の養成や認知症カフェの活動支援などに取り組んだ。

# 歳 入

#### <u>(1款)保険料 (1項)介護保険料</u>

介護保険料の収入状況は、次のとおりである。

(単位:千円、%)

								ıl⇒ <b>∃</b>		7	収約	内 率		
区			分	予算現額	調	定	額	収入済額	還 付	収未	済	A 額	6年度	5年度
			未済額				小间银		対調定	対調定				
現	年	賦	課分	6, 272, 974	5,	959,	855	5, 947, 003	14, 256		12,	542	99.8	99. 7
滞	納	繰	越分	21, 877		68,	767	11, 507	23		36,	041	16. 7	17. 7

# (3款)国庫支出金 (1項)国庫負担金

国庫負担金の収入状況は、次のとおりである。

区分	負担率	負担金受入額	備考
介護給付費負担金	20/100	5, 274, 091 千円	施設等分の負担率は15/100

## (3款)国庫支出金 (2項)国庫補助金

国庫補助金の収入状況は、次のとおりである。

区 分	補助率	補助金受入額	備考
調整交付金	5. 05/100	1, 398, 375 千円	
地域支援事業交付金	20/100	92, 003 千円	
(介護予防・日常生活支援総合事業)			
地域支援事業交付金 (包括的支援事業・任意事業)	38. 5/100	33, 052 千円	
保険者機能強化推進交付金	_	21,040 千円	評価指標に基づく県からの
保険者努力支援交付金	_	42, 597 千円	配分により補助額が決定
介護保険事業費補助金	_	2,092 千円	
合 計		1,589,159 千円	

# (4款)支払基金交付金 (1項)支払基金交付金

支払基金交付金の収入状況は、次のとおりである。

区 分	負担率	交付金受入額	備考
介護給付費交付金	27/100	7, 590, 300 千円	
地域支援事業支援交付金	27/100	129, 371 千円	
合 計		7,719,671 千円	

## (5款)県支出金 (1項)県負担金

県負担金の収入状況は、次のとおりである。

区 分	負担率	負担金受入額	備考
介護給付費負担金	12. 5/100	3,831,542 千円	施設等分の負担率は17.5/100

# (5款)県支出金 (2項)県補助金

県補助金の収入状況は、次のとおりである。

区 分	補助率	補助金受入額	備考
地域支援事業交付金	12. 5/100	59, 278 千円	
(介護予防・日常生活支援総合事業		55, 210	
地域支援事業交付金	10.95/100	17 026 手四	
(包括的支援事業・任意事業)	19. 25/100	17, 036 千円	
合 計		76, 314 千円	

## (7款)繰入金 (1項)一般会計繰入金

介護給付費市負担金として 3,468,731 千円、地域支援事業費市負担金として 70,792 千円、 低所得者保険料軽減負担金として 335,926 千円、事務費等として 738,274 千円、合計 4,613,723 千円を一般会計から繰り入れた。

#### (7款)繰入金 (2項)基金繰入金

不足する給付費の補填等として310,000千円を介護給付費準備基金より繰り入れた。

# (8款)繰越金 (1項)繰越金

前年度からの繰越金は、138,341千円であった。

# 歳 出

#### (1款)総務費 (4項)趣旨普及費

高齢者支援パンフレットの作成費用 2,834 千円など、3,185 千円を支出した。

#### (2款)保険給付費 (1項)介護サービス等諸費

介護サービス等諸費の支出状況は、次のとおりである。

区 分	件数	給 付 額
居宅介護サービス給付費	234, 715 <sup>#</sup>	10,082,946 千円
地域密着型介護サービス給付費	44, 626 #	8, 928, 119 千円
施設介護サービス給付費	18, 223 件	5, 322, 147 千円
居宅介護福祉用具購入費	960 件	30,825 千円
居宅介護住宅改修費	634 件	53, 400 千円
居宅介護サービス計画給付費	83, 310 件	1, 245, 972 千円
合 計	382, 468 件	25, 663, 409 千円

# (2款)保険給付費 (2項)介護予防サービス等諸費

介護予防サービス等諸費の支出状況は、次のとおりである。

区 分	件数	給 付 額
介護予防サービス給付費	31,877件	573, 255 千円
地域密着型介護予防サービス給付費	786 件	63, 242 ≠ <sub>円</sub>
介護予防福祉用具購入費	411 <sup>件</sup>	11,697 千円
介護予防住宅改修費	503 件	48, 120 千円
介護予防サービス計画給付費	23,770 件	109, 640 千円
合 計	57, 347 件	805, 954 千円

# (2款)保険給付費 (3項)高額介護サービス等費

高額介護サービス等費の支出状況は、次のとおりである。

区 分	件数	給 付 額
高額介護サービス費	55, 297 件	694, 634 千円
高額介護予防サービス費	483 件	1,332 千円
高額医療合算介護サービス費	2,911 件	92, 911 千円
高額医療合算介護予防サービス費	37 件	219 千円
合 計	58,728 件	789, 096 千円

#### (2款)保険給付費 (4項)特定入所者介護サービス等費

特定入所者介護サービス等費の支出状況は、次のとおりである。

区 分	件数	給 付 額
特定入所者介護サービス費	16, 324 <sup>#</sup>	477, 773 千円
特定入所者介護予防サービス費	29 件	92 千円
合 計	16, 353 件	477, 865 <sup>←円</sup>

#### (2款)保険給付費 (5項)市町村特別給付費

市町村特別給付費の支出状況は、次のとおりである。

		区			分			延べ利用者数	給	付	額
介	護	用	品	支	給	事	業	4, 186 <sup>人</sup>		12, 449	千円

## (2款)保険給付費 (6項)諸費

諸費の支出状況は、次のとおりである。

		区		分			件	数	支	出	額
審	査	支	払	手	数	料		464, 276 件		16, 56	60 千円

# (3款)地域支援事業費 (1項)介護予防・生活支援サービス事業費

旧介護予防訪問介護等により提供されていた専門的なサービスや、緩和した基準によるサービス、要支援者等の生活支援のニーズに対応するサービスの提供を行った。

介護予防・生活支援サービス事業費の支出状況は以下のとおりである。

区 分	支	出	額
第1号訪問・通所事業		377, 81	0 千円
高額総合事業サービス費事業		99	6 千円
介護予防ケアマネジメント事業		52, 40	6 千円
合 計		431, 21	2 千円

#### (3款)地域支援事業費 (2項)一般介護予防事業費

高齢者が要介護状態になることを予防するため、介護予防に関する教室の開催や、介護予防の普及啓発に取り組んだ。

一般介護予防事業費の支出状況は以下のとおりである。

区 分	支	出	額
介護予防把握事業		1, 44	17 千円
介護予防普及啓発事業		18, 90	)8 千円
地域リハビリテーション活動支援事業		2, 31	15 千円
合 計		22, 67	70 千円

#### (3款) 地域支援事業費 (3項) 包括的支援事業・任意事業費

入退院調整ルールの運用や在宅医療・介護連携センターの設置、患者の意思を在宅療養関係者で共有できるフォーマット「私の生き方ノート」などによる在宅医療と介護の連携推進を図った。

また、認知症の早期発見・早期対応として認知症のチェックや予防教室、ものわすれ予防 検診等に取り組んだ。さらに、認知症初期集中支援チームの運営、認知症の方やその家族を 社会全体で支える仕組み「チームオレンジ」の取組、認知症カフェの活動支援を行った。

加えて、「ケアプランチェック」を行うことにより、介護サービスの質の確保と適正化を図った。また、介護人材育成と職員定着率の向上に資するための事業者支援事業として、介護事業所向けに研修や意見交換会等を行った。

包括的支援事業・任意事業費の支出状況は、次のとおりである。

区分	支 出 額
在宅医療・介護連携推進事業	25,040 千円
認知症総合支援事業	11,730 千円
地域ケア会議推進事業	1,364 千円
給付適正化事業	715 千円
介護サービス事業者支援事業	1,188 千円
家族介護教室の開催	1,005 千円
家族介護継続支援事業	600 千円
成年後見制度利用支援事業	6, 374 千円
福祉用具・住宅改修支援事業	272 千円
認知症サポーター等養成事業	351 千円
地域自立生活支援事業(介護相談員派遣事業)	3, 282 千円
地域自立生活支援事業(高齢者配食サービス事業)	5, 557 千円
地域自立生活支援事業 (緊急通報システム貸与事業)	14,664 千円
認知症高齢者見守り事業	80 千円
合 計	72, 222 千円

#### (4款)基金積立金 (1項)基金積立金

介護給付費準備基金積立金として、92,445千円を支出した。

#### (6款)諸支出金 (2項)一般会計繰出金

重層的支援体制整備事業の実施に伴い、一般会計へ移行した事業の保険料相当額(法定繰出分)として112,566千円を一般会計に繰り出した。

# ◇◇◇ 農業集落排水事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額 296,350 千円

歳出決算額 288,103 千円

差引残額 8,247 千円

本事業は、農業用水の水質保全と機能維持や農村環境の改善を図ることを目的としており、 排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、令和5年7月の大雨により被災した南部 浄化センターの復旧工事に引き続き取り組んだ。

# 歳入

歳入は、受益者分担金 675 千円、施設使用料 76,333 千円、国庫補助金 6,994 千円、一般会計繰入金 183,000 千円、繰越金 11,246 千円、諸収入 2,502 千円及び市債 15,600 千円である。

# 歳 出

歳出は、総務管理費 41,403 千円、施設管理費 86,660 千円、公債費 134,091 千円及び 施設災害復旧費 25,949 千円である。

#### ◇継続費の状況(南部浄化センター災害復旧工事)

年	度	計	画	額	執	行	済	額	事業繰越額
令和 5	5 年度		22, 20	00 千円		5	5, 36	0 千円	16,840 千円
令和6	5 年度		33, 0'	77		25	, 94	9	
合	計		55, 2	77		31	, 30	9	

#### ◇水洗化普及状況

令和6年度末 水洗化可能戸数	(A)	1,986 戸
令和5年度末 水洗化済戸数	(B)	1,727 戸
令和6年度中 水洗化済戸数	(C)	11 戸
令和6年度末 水洗化済戸数	(B) + (C) = (D)	1,738 戸
水洗化率	(D) / (A) = (E)	87.5%

# ◇◇◇ 特定地域生活排水処理事業特別会計 ◇◇◇

歲入決算額 201,355 千円 歲出決算額 190,625 千円 差引残額 10,730 千円

本事業は、水質汚濁の原因である生活排水を適正に処理し、快適で豊かな生活を営むことを目的としており、合併処理浄化槽の整備及び適正な維持管理に努めた。なお、市町村設置型の新規設置の申請受付は令和6年度末をもって終了した。

# 歳 入

歳入は、受益者分担金 1,602 千円、浄化槽使用料 93,859 千円、国庫補助金 1,602 千円、県補助金 714 千円、一般会計繰入金 80,000 千円、繰越金 12,463 千円、市債 11,100 千円及びその他 15 千円である。

# 歳 出

歳出は、総務管理費 19,555 千円、施設管理費 105,454 千円、施設建設費 24,590 千円及び公債費 41,026 千円である。

#### ◇市町村設置型 合併処理浄化槽整備状況

人槽別	令和6年度 設置基数	整備累計基数
5 人槽	6 基	484 基
6~7 人槽	3 基	911 基
8~10 人槽	1基	302 基
11~20 人槽	0 基	31 基
21~30 人槽	0 基	31 基
31~50 人槽	0 基	19 基
計	10 基	1,778 基

# ◇◇◇ 後期高齢者医療事業特別会計 ◇◇◇

歳入決算額 5,591,029 千円

歳出決算額 5,412,188 千円

差引残額 178,841 千円

本事業は、制度の運営主体である福岡県後期高齢者医療広域連合との役割分担に基づき、保険料の徴収、保険給付の申請受付等の業務を実施した。

# 歳 入

## (1款)保険料 (1項)保険料

後期高齢者医療保険料の収入状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

	区 分		区		分		予算現額	調定額	収入済額	還付未済額	収入未済額
現	年	賦	課	分	4,010,507	4,100,699	4,088,503	10,996	12,196		
滞	納	繰	越	分	12,713	42,595	15,045	110	21,480		
		計		·	4,023,220	4,143,294	4,103,548	11,106	33,676		

#### (3款)繰入金 (1項)一般会計繰入金

広域連合事務費負担金として 115,077 千円、保険基盤安定負担金として 1,087,173 千円、 事務費等として 113,279 千円、合計 1,315,529 千円を一般会計から繰り入れた。

保険基盤安定負担金に	玉	県	市	計
係る繰入金財源内訳		815,380 千円	271,793 千円	1,087,173 千円

# 歳 出

#### (1款)総務費 (1項)総務管理費

令和7年度末を期限として義務付けられている標準仕様準拠システムへの移行に対応する ためのシステム改修費用31,434千円を含む119,906千円を一般管理費として支出した。

# (1款)総務費 (2項)徴収費

後期高齢者医療保険料の徴収に係る費用として13,094千円を支出した。

### (2款)後期高齢者医療広域連合納付金 (1項)後期高齢者医療広域連合納付金

5,268,835 千円を納付金として福岡県後期高齢者医療広域連合に納付した。

内 訳	金額		
保険料負担分	4,066,585 千円		
広域連合事務費分	115,077 千円		
保険基盤安定負担分	1,087,173 千円		
計	5, 268, 835 千円		

# ◇◇◇ 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計 ◇◇◇

**歳入決算額** 189, 105 千円

歳出決算額 122,954 千円

差引残額 66,151 千円

本事業は、20歳未満の子どもを扶養するひとり親家庭及び寡婦等に母子父子寡婦福祉資金の貸付を行うことにより、経済的な自立支援などを図ることを目的としている。そのため、修学資金や就学支度資金などの貸付を実施し、ひとり親家庭等の生活安定を図ることにより、その子どもの福祉の向上に努めた。

#### 歳 入

歳入は、貸付金元利収入 57, 787 千円、一般会計繰入金 1, 685 千円、繰越金 125, 549 千円、 その他 4, 084 千円である。

#### 歳 出

歳出は、貸付金 48,387 千円、貸付事業事務費 1,178 千円、システム改修委託料 4,625 千円、国への償還金 49,628 千円、一般会計繰出金 19,136 千円である。

#### ◇母子父子寡婦福祉資金貸付状況

入了券州田正貞五			
資 金 区	分	件数	金額(千円)
事 業 開	始	0	0
事 業 継	続	0	0
修	学	47 (17)	18, 859
技 能 習	得	1 (1)	400
修	業	0	0
生	活	20 (17)	6, 264
就 学 支	度	55 (55)	22, 864
住	宅	0	0
就 職 支	度	0	0
転	宅	0	0
医 療 介	護	0	0
結	婚	0	0
計		123 (90)	48, 387

(件数・金額とも新規申込分と継続分の合計。件数の() 書きは新規申込分)

# 

歳入決算額 38,862 千円

歳出決算額 38,233 千円

差引残額 629 千円

自動車や食品、バイオ・医療関連分野をはじめとした地域経済を支える産業の集積を進め、雇用創出の受け皿となる産業団地を整備するため、令和6年度は、用地取得に向けた地権者との交渉等を行った。

## 歳入

歳入は、繰越金 662 千円、市債 38,200 千円である。

#### 歳 出

歳出は、産業団地整備事業費 37,836 千円、公債費 397 千円であり、その内訳は以下のと おりである。

○産業団地整備事業費

37,836 千円

• 産業団地整備委託料

37,824 千円

・消耗品費

12 千円

○公債費

397 千円

• 公債利子

397 千円